

## 種子島及び馬毛島に滞在する工事関係者数の推移

種子島に滞在する工事関係者数推移（単位：人）※4/1 現在以降（ ）内は西之表市の数

R5	2/1 現在	4/1 現在	6/5 現在	8/31 現在	10/31 現在	12/22 現在
宿泊施設	約 120	約 150 (約 130)	約 160 (約 120)	約 160 (約 130)	約 140 (約 120)	約 160 (約 130)
賃貸物件	約 100	約 280 (約 220)	約 350 (約 260)	約 300 (約 230)	約 380 (約 310)	約 450 (約 340)
仮設宿舎	約 140	約 200 (約 200)	約 360 (約 350)	約 520 (約 520)	約 870 (約 600)	約 1,080 (約 810)
自宅等	約 150	約 180 (約 120)	約 180 (約 100)	約 140 (約 100)	約 170 (約 110)	約 110 (約 70)
合計	約 510	約 810 (約 670)	約 1,050 (約 830)	約 1,120 (約 970)	約 1,550 (約 1,140)	約 1,800 (約 1,350)

馬毛島に滞在する工事関係者数推移（単位：人）

R5	2/1 現在	4/1 現在	6/5 現在	8/31 現在	10/31 現在	12/22 現在
馬毛島	-	約 60	約 200	約 400	約 580	約 1,000
種子島馬毛島合計	約 510	約 870	約 1,250	約 1,520	約 2,130	約 2,800

※各数値は1桁目の位を四捨五入している。そのため内数の和が小計と合わない場合がある。

※滞在する工事関係者のピークについては、5月12日の第12回西之表市と防衛省との協議の場において、工事着手から約1年後、種子島で約2,000人、馬毛島で約4,000人との見通しが示されています。

※8月から、馬毛島分の工事関係者数については、休暇等により一時的に馬毛島を離れる者もカウントするように集計方法を変更している。

※なお、馬毛島内の仮設宿舎については、12月22日時点で約1,000室整備、2月頃までに約1,560室整備予定。

## 馬毛島内の伐採樹木の処理について

令和5年12月26日、防衛省から「馬毛島内の伐採樹木の処理について」の連絡がありました。その概要は以下のとおりです。

### ■概要

○馬毛島における施設整備においては、約57,000m<sup>3</sup>の伐採樹木が発生し、これを島外の処理施設で再資源化する計画としていたところ、工事による種子島の住民生活への影響を最小限にとどめるべく、出来る措置を検討してまいりました。

○これについて、種子島内の運搬車両の走行環境負荷や渋滞発生を軽減するため、環境負荷の少ない処理方法として、馬毛島島内で伐採樹木を破碎しチップ・堆肥化して、島内にて植生基盤土壌や植生吹付の基盤材等として利用することといたしました。

○伐採樹木破碎機の馬毛島への搬入を予定しており、準備が整い次第、島内での処理を開始してまいります。



伐採樹木 破碎・チップ化

▲九州防衛局ホームページ（○馬毛島の施設整備の状況）より抜粋

※馬毛島の施設整備の状況については、令和5年12月から、九州防衛局のホームページ（<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>）に掲載されていますので、ご確認ください。